

別紙

滋賀県立自然公園条例の一部を改正する条例案に対して提出された意見・情報および県の考え方

I 県民等から提出された意見・情報					
なし					
II 関係行政機関から提出された意見・情報					
機関名	条項	該当条文	意見・情報(概要)		意見・情報に対する県の考え方
野洲市	新条例第38条第1項第3号	県立公園の特別地域または集団施設地区内においては、何人も、みだりに次の各号に掲げる行為をしてはならない。 (3) 野生動物(鳥類または哺乳類に属するものに限る。以下この号において同じ。)に餌を与えることその他の野生動物の生態に影響を及ぼす行為で規則で定めるものであつて、当該県立公園の利用に支障を及ぼすおそれのあるものを行うこと。	1	規則でどのような行為を定めるのか。	国立公園・国定公園において、同様の行為が政令(自然公園法施行令)により定められており、その内容として「野生動物に餌を与えること」および「野生動物に著しく接近し、またはつきまとうこと」の2点が規定されています。 本条例は、自然公園法と統一的な解釈により制度運用しているため、規則で定める行為についても政令と同じ内容で規定する予定です。
			2	新条例第24条第3項第12号または第14号において、知事の許可を受けなければならない行為が定められているが、この規定と第38条第1項第3号の規定は整合しているのか。	新条例第24条第3項では、風致維持の観点から、特別地域であつて知事が指定する区域内において、本来の生育地でない植物で知事が指定するものを植栽し、またはその種子をまくこと(同項第12号)、本来の生息地でない動物で知事が指定するものを放つこと(同項第14号)等、一定の行為について知事の許可を要することとしています。 一方、第38条第1項第3号により規制する行為については、上述のとおり「野生動物に餌を与えること」や「野生動物に著しく接近し、またはつきまとうこと」を規則で定める予定であり、かつ、この規制の適用は当該行為がみだりに行われる場合に限定されるため、第24条第3項の規定との整合は図られているものと考えます。